

2004 年度

事業活動報告

決算報告

監査報告書

ご協力者

2004 年度 事業活動報告

2004 年度日本ハビタット協会は、国連ハビタットが行う戦争や災害で打撃を受けたまちの復興再建事業「紛争後のまちづくり再建事業」を全面的に支援してまいりました。

主な活動は募金、カレンダー募金、展示、イベント開催、スタディツアーの実施、チャリティコンサートなどです。

特に、2004 年 12 月 26 日に発生したスマトラ沖地震・インド洋大津波の再建復興緊急募金は福岡県・福岡市を中心として日本中に支援の輪が広がり、多くの方々から募金を寄せて頂くことができました。また、2004 年 3 月に開催された「女性にやさしいまちづくり」フォーラム・専門家会議と日本国内の自治体を対象に実施した男女共同参画に関するアンケートの集計結果をまとめた報告書「女性にやさしいまちづくり」の発行、「まちづくり通信」「イラク通信」の発行などを通し、広報事業にも努めました。

1. 協力支援事業

(1) スマトラ沖地震・インド洋津波復興緊急募金

2004 年 12 月 26 日に起きたスマトラ沖地震・インド洋津波はインド洋に面した地域に壊滅的な打撃を与えました。

日本ハビタット協会では災害直後の 2004 年 12 月 30 日からこの災害に対する復興支援募金を開始いたしました。福岡県・福岡市を中心に、自治体、学校、企業など、日本中に支援の輪が大きく広がり、3 月 31 日現在の募金総額は 38,923,236 円となりました。この緊急募金にこれまでの募金を合わせて、同 3 月 31 日に国連ハビタット福岡事務所に 40,000,000 円を送金しました。

この募金はスリランカ、モルディブ、インドネシアなどで「ふくおか村プロジェクト」に活用されます。

(2) いのちの水プロジェクト

2003 年 12 月 26 日イランのバム地域で発生した地震によってアフガニスタンのファラーに帰還したアフガニスタン人被災者やアフガニスタンの国内避難民を対象に井戸、貯水池、給水ネットワーク、ポンプ、発電装置などを設置する「いのちの水プロジェクト」が実施されました。

この事業はファラー市政府との協力で行われ、帰還民 61 人が雇用され、約 1,200 の帰還民世帯（約 8,400 人）への安全な飲料水の提供が可能となりました。この事業は

空港や企業等に設置された募金箱に寄せられた募金やカレンダー募金、あおぞら銀行からご協力をいただいたトースター、温冷庫募金などが充てられました。



(3) 新潟中越地震復興支援

2004年10月23日に発生した新潟中越大震災の被災地の方々を応援するために下記事業を実施しました。

● アスベスト防塵マスク配布

被災した建物の復興工事の際に発生するアスベストから子どもたちを守るために、小千谷市立小千谷小学校、十日町市、魚沼市の子どもたちにアスベスト防塵マスクを配布しました。
マスク配布枚数：30,000枚



● なかまの家の支援金寄贈

中魚沼郡の知的障害者施設「なかまの家」に地震によって破壊された高架水路及び貯水移動装置の修理等に充てていただくための義援金を送りました。
この義援金は、2004年12月28～30日に開催されたキャナルシティのチャリティオークションからの寄付です。



(4) 国連ハビタット福岡事務所支援

2005年3月、福岡県国際交流センターを通じ、国連ハビタットの活動経費として500,000円を拠出しました。

(5) スタディツアー

2004年5月28日～6月1日にカンボジアへのスタディツアーを実施しました。参加者は福岡地区からの方が中心とした21人、国連ハビタットがこれまでに取り組んできたスラム改善事業などの視察を行い、新しい事業の開所式に参加しました。
です。



(6) ハビタットカレンダー 2005

国連ハビタットの実施する「いのちの水プロジェクト」の募金のため、ハビタットカレンダー2005の配布を通して募金活動を行いました。このカレンダーは2004年度に国連ハビタットが実施した絵画コンクール「僕たち私たちのまち」の応募作品で構成されています。

カレンダー作製数：5,000部

カレンダー募金総額：2,002,200円（2,023部）

募金総額から、カレンダー制作費、送料を引いた金額が海外協力事業費に充てられます。



(7) 紛争後のまちづくり募金事業

大型、小型の募金箱を製作し、大型募金箱は成田空港、福岡空港、ア
クロス福岡をはじめとする 12 箇所に、小型募金箱も病院、個人商店
などに約 15,000 個設置させていただいております。

2004 年度の募金総額は 4,924,062 円です。寄せられた外貨コインと小
型募金箱の回収には課題が残っています。



2. 広報・宣伝活動

(1) ニューズレター「まちづくり通信」

今年度は「まちづくり通信」vol. 7 を 10,000 部、vol. 8 を 20,000 部発行しました。

発行部数は昨年度比 200 パーセントです。会員に郵送する他、展示・イベント会場、愛・地球博、マリ・ク
リスティーヌ親善大使の職務上の講演会等でも配布されました。

(2) イラク通信

国連ハビタットが実施するイラクでの事業を広報するために、「イラク通信」を発行しました。

発行部数：10,000 部

(3) ホームページ

年間を通じてホームページ事業には力をいれました。事業の状況に沿って細かく書き換えを実施し、活動内容
が全てわかるようになっております。

ホームページを見ての問い合わせも増えており、カレンダーの申し込み等もホームページが活用されています。

(4) リーフレット・チラシ類

①作成数

特定非営利活動法人 日本ハビタット協会リーフレット(0 部 ※昨年度作成分を使用)

会員募集用チラシ(5,000 部)

②配布数

特定非営利活動法人 日本ハビタット協会リーフレット (4,000 部)

国連ハビタット福岡事務所リーフレット (20,000 部)

子ども用リーフレット (1,500 部)

書籍販売用チラシ (5,000 部) カレンダー募金用チラシ (5,000 部)

会員募集用チラシ (3,000 部)

(5) ビデオ

スラムの改善など、国連ハビタットのカンボジアでの事業を広報する「国連ハビタットのカンボジアにおける
活動」のビデオを 2005 年 3 月に作製しました。愛・地球博会場での放映などに使われております。

貸し出しご希望の方は事務局までご連絡ください。

3. 展示・イベント実施状況

(1) 愛・地球博

2005年3月25日～9月25日まで名古屋で開催されている愛・地球博に出展しています。瀬戸会場の市民パビリオン内で「貧困層の生活環境改善プロジェクト」と題し、アフガニスタンなどにおける人的災害、スマトラ沖大地震・インド洋津波などにおける自然災害からの復興におけるハビタットの役割について展示を行っています。

(2) 災害に強い「くに」と「まち」づくり

① 国際セミナー

2005年3月21日（月・祝）、アクロスサロン（アクロス福岡）にて国際セミナー『災害に強い「くに」と「まち」づくり緊急専門家会議』を開催しました。当初は、スマトラ沖地震被災状況およびその復興に関する情報収集のセミナーを開催する予定でしたが、開催前日に福岡西方沖地震が発生したため、急遽、同地震の状況報告を交えた緊急専門家会議に内容を変更しました。



② 展示

・東京会場 2005年3月6日（日）～11日（金）

会場：東京都庁展望室

概要：東京都庁45階の南展望室には、毎日約4,000人もの人々が訪れます。今回は、その展望室の一角でパネル展示を行いました。来客のほとんどが通過する地点に展示したため、多くの見学者を得ることができました。場所柄、日本語の読めない外国からの観光客も多く訪れていましたが、写真や地図を指差しながら熱心に見学していました。



・福岡会場

実施時期：2005年3月22日（月）～29日（火）

会場：アクロス福岡3F こくさいひろば

概要：「アクロス福岡・こくさいひろば」は名前のおり福岡県の国際化推進をめざし、様々な国際交流事業にとりくんでいる国際色豊かな場所です。パスポートを発行するパスポートセンターも隣接しているので、多くの日本人や県内に住む外国人が、しばし写真を見入っている様子が伺えました。



(3) チャリティコンサート

2004年8月16日（月）日本読売交響楽団のご協力により、マリ親善大使のトークとスタジオジブリの音楽で構成されたチャリティコンサート「スタジオジブリ その魅力の世界」が開催されました。夏休みで多くの親子連れが来場し、会場は、補助席が用意されるほどの満席でした。この事業はあおぞら銀行、プルデンシャル生命保険株式会社、コムシスホールディングス株式会社の協賛で行われました。



4. アドボカシー活動

「女性にやさしいまちづくり」

2004年2月に実施した「女性にやさしいまちづくり」に関しての意識調査の集計結果、2004年3月8日に開催された「女性にやさしいまちづくりフォーラム」の内容をまとめた報告書を発行いたしました。国連の「ミレニアム開発目標」でも重要視されている「ジェンダーの平等と女性のエンパワメント」の活動の一環として国連ハビタットの委託を受けた事業です。

発効日：2004年10月1日 発行部数：3,000部 販売価格：1,500円＋消費税（1,575円）

5. 組織活動

(1) 会員（2004年4月1日～2005年3月31日）

個人会員：90人

法人会員：7団体

ボランティア登録者：20人

個人会員数は前年度比17%増、法人会員は昨年度より1団体増です。

個人、法人とも継続会員の増加と新規会員の獲得が今後の課題です。

(2) ボランティアデー

募金のコイン整理、ニュースレターの発送などのためにボランティアデーが25回開催されました。

開催場所：ふくおか会館

参加ボランティア数：のべ75名

(3) ハビタットフレンズ

ボランティア登録者の他にも、チャリティーコンサートや愛・地球博への参加に伴い、横浜や名古屋においてハビタットの活動をサポートして下さるボランティアグループが出来てきました。

ボランティア数：35名

6. 事務局体制

- (1) 東京事務所は3名、福岡支部は1名の常勤スタッフで運営されました。

展示・イベント等実施状況

2004年

5月28～6月1日	カンボジアスタディーツアー	カンボジア
6月24日	日本ハビタット協会第二回理事会・総会	霞山会館
7月18・19日	アオ・ゾ～ラホリデーキャンペーン募金	三越福岡
8月16日	チャリティコンサート	横浜みなとみらいホール
10月2日	絵画コンクール	キャナルシティ博多
10月16・17日	横浜国際協力まつり	横浜国際交流センター
10月22日	国連デー記念シンポジウム	国連大学

2005年

2月7日	さっぽろ雪まつり	真駒内会場
3月6日	2005年国際女性デー	国連大学
3月6～11日	スマトラ沖震災と復興展示	東京都庁展望室
3月22～29日	スマトラ沖震災と復興展示	アクロス福岡 こくさいひろば
3月25日～	日本万国博覧会	名古屋